

2 新潟県立がんセンター新潟病院

所在地 〒951-8566 新潟県新潟市中央区川岸町2-15-3
 TEL 025-266-5111 FAX 025-266-5112 HPアドレス <http://www.niigata-cc.jp/>

● 病院概要

● 開設者名 新潟県 ● 病院長名 佐藤 信昭

● 標榜診療科目

内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、頭頸部外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科

● 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	404床	293.2人

- 一日平均外来患者数 907.2人
- 年間手術件数 4,886件
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況
- 医師数 常勤 96人 非常勤 3.1人
- 病院併設施設 無



JCOG(胃がんグループ)参加施設、JCOG(食道がんグループ)参加施設、JCOG(肺がん外科グループ)参加施設、JCOG(乳がんグループ)参加施設、JCOG(皮膚腫瘍グループ)参加施設、JCOG(肺がん内科グループ)参加施設、呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度基幹施設、日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)非血縁者間骨髄採取認定施設・非血縁者間骨髄移植認定施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、日本医療機能評価機構認定、日本医療学会がん専門薬剤師研修施設認定、日本インターベンショナルラジオロジー学会(日本IVR学会)専門医修練施設、日本核医学会専門医教育病院、日本眼科学会研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本乳癌学会認定施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本病院薬剤師学会がん専門薬剤師研修事業暫定認定研修施設、日本病理学会研修認定施設B、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本麻酔科学会認定病院、日本輸血・細胞治療学会指定研修施設、日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設、日本輸血・細胞治療学会I & A認証施設、日本臨床衛生検査技師会精度保証施設、日本臨床細胞学会施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本食道学会食道外科専門医認定施設、日本小児血液学会、日本小児がん学会小児血液・小児がん専門医研修施設、日本乳房オンコプラステックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、日本乳房オンコプラステックサージャリー学会インプラント実施施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連施設、日本超音波医学会研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本大腸肛門病学会認定施設、NCD施設 会員

医学生の皆様へ

日本では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡するといわれています。当院では多くの方が経験するがんの専門病院として「全ての患者さんに最善のがん医療を提供する」を基本理念にし、最先端の医療技術はもちろん、患者さんの身体的、社会的、心理的な面までも包括する全人的な医療を提供するため、診断～治療～治療後の間、困難な病態と対峙する患者さんの課題に対して多くの部門が関わる「チーム医療」を大切にしています。

当院では、都道府県がん診療連携拠点病院として多くの症例を有するなか、がん専門病院ならではの特徴ある診療科をより厚く学んでいただけるよう、基本コースに加えて次の重点コースを新設しました。救急等の必修科目に関しては、多様性に富んだ臨床研修病院群から研修先を選択していただくことが可能です。

“がん”を切り口に、全人的なチーム医療を学び実践しながら、医師としての礎を築いていきませんか？

がん薬物療法・周術期重点コース

- ・外来化学療法をベースにがん薬物療法専門医など関係専門職と共同して診療にあたり、がん薬物療法の基礎を身につけ、標準的な治療を実践することができます。
- ・高齢者症例や合併症を有するがん症例の手術治療、周術期管理に数多く参画するとともに、術前・術後のプライマリーケアにつながる課題を実践的に学ぶことができます。

総合消化器内科・基本手技(内視鏡・超音波等)アドバンスコース

- ・がんの診療はもとより、プライマリーケアにおいても重要な「消化器内視鏡検査」等について、豊富な症例数と経験豊かな指導医のもと、手技を身につけることを目標として重点的に学ぶことができます。
- ・研修後期で内科(消化器)8週を必修科目にしています。

緩和ケア重点コース

- ・診断早期から積極的抗がん治療と緩和ケアを並行し、最終末期においても主治医チームとの協働が重要との考えのもと、様々な苦痛をもつ患者を診察し、諸症状を理論的に診断のうえ、QOL維持のための初歩的な医学技術、処置、コミュニケーションスキルを学ぶことができます。
- ・研修後期で緩和ケア科8週を必修科目にしています。

放射線 画像診断・治療重点コース

- ・がんの診療において極めて重要な「放射線画像診断」について、当院が行うCT、MRI、アイントープ検査及びPET-CTなど多様な画像を用いて検査適応を適切に判断するための基礎を学ぶことができます。
- ・様々な放射線治療を豊富に学ぶことができます。
- ・研修後期で放射線科8週を必修科目にしています。

※重点コースは上記4つの他、産婦人科重点と小児科重点があります。

◆ Access



照会先
 庶務課 臨床研修医採用担当
 TEL 025-266-5111 FAX 025-266-5112
 メールアドレス kensyu@niigata-cc.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法
 氏名、大学名、学年、見学希望日、見学希望の診療科を明記して、メールにてお申し込みください。

- 【電車】 JR越後線「白山駅」下車 徒歩1分 【高速バス】 新潟行「がんセンター前」下車
- 【市内バス】 新潟駅前、万代シティ、古町、市役所、青山方面より BRT萬代橋ライン「白山駅前」下車 徒歩3分
 新潟駅南口、上所、近江、出来島方面より C1県庁線「がんセンター前」下車
 新潟大学病院より S1市民病院線「がんセンター前」下車

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2022年度研修医)

● 目的

- 一般目標：疾病の予防、診断、治療までを全人的に学び、患者の立場にたったチーム医療を実践できるようになることを目標とします。
- 行動目標：(1) 診療情報を適切な病歴聴取と身体診察により収集・整理し正確に記載できる。(2) プロブレムリストをリストアップし、多角的なアプローチで診療を立案できる。(3) 標準的な診療方針について理解し、実践できる。(4) 最新の診療情報を収集し、継続的に学習する姿勢を身につける。(5) 多職種と連携・協調し、チームの一員として診療を実践できる。

● 特徴

- ①がん専門病院ならではの診療科(緩和ケア科、病理診断科、放射線診断(治療)科)での研修を選択できます。
 - ②最新の医療技術・情報を学ぶことができます。
 - ③臨床研修病院群の中で、多様な研修を展開できます。
- ※右の研修スケジュール概要は基本型のモデルケースです。重点コースでは、選択必修8週を2年目の自由選択14週の間に行います。

2022年度 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床研修プログラム 研修スケジュール概要

1年目	内科 24週	麻酔科 4週	外科 8週	救急 12週	小児科 4週	
2年目	産婦人科 4週	精神科 4週	一般内科 4週	一般外来2週 在宅診療4週 地域医療6週	自由選択 20週	自由選択 14週
■ 新潟県立がんセンター新潟病院で研修		合計54週				
■ 魚沼基幹病院、連携病院・施設で研修		合計50週				

○がんセンター新潟病院選択科目

内科、小児科、骨軟部腫瘍・整形外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、眼科、婦人科、頭頸部外科、泌尿器科、放射線科、形成外科、病理診断科

○選択科目協力病院

魚沼基幹病院、県立中央病院、県立十日町病院、県立新発田病院

○重点コース必修科目協力病院

【救急】新潟市民病院、長岡赤十字病院、県立新発田病院、県立中央病院、長岡中央総合病院、柏崎総合医療センター、村上総合病院、県立燕労災病院、県立十日町病院、上越総合病院、魚沼基幹病院【産婦人科、小児科】済生会新潟病院、長岡赤十字病院、県立新発田病院、県立中央病院、長岡中央総合病院、柏崎総合医療センター、村上総合病院、上越総合病院、魚沼基幹病院、県立吉田病院(小児のみ)、県立十日町病院(小児のみ)【精神科】県立新発田病院、河渡病院、魚沼基幹病院

● 協力病院・協力施設

魚沼基幹病院、新潟県立十日町病院、新潟県立松代病院 等

● 研修医の待遇 (2022年度研修医)

1年次月額	基本給	350,000円
	時間外勤務手当	120,000円
	住居手当	27,000円
月額平均 計		497,000円
2年次月額	基本給	400,000円
	時間外勤務手当	130,000円
	住居手当	27,000円
月額平均 計		557,000円

● 勤務体制 勤務時間：8:30～17:15

日直：//
 当直：17:15～8:30

● 研修医当直 回数(月平均) 4回/月

当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数) 1人
 (当直研修医数) 1人

研修医単独の当直はなく、必ず指導医と一緒に当直する。

● 研修医の学習環境

- 居室 専用の研修室有、専用の机有、ソファ等有
- 図書・文献 図書室：平日の8:30～17:15利用可能
 医学図書7,000冊以上 Web利用可能
- インターネット環境 各自の机からインターネット接続可能
- 研修の宿舎の有無など
 宿舎 無 規定により算定した住宅手当を支給(上限27,000円)します。
- 食事 朝食は売店、昼食は職員食堂・弁当宅配・売店・外食、夕食は外食・近隣にコンビニエンスストア有

